

5. E＋タイム

1 ねらい

コミュニケーション能力を高める「ことば」を大切にしたい学びの機会を与える。

2 E＋タイムの名称に込められた思い

「English（英語）」「Exchange（交流）」「Explore（探求）」「Expression（表現）」

などの「E」を統合したイメージの学習。「＋」は、これからのいろいろな可能性をプラスしていきけるイメージ。

3 活動を通して育てたい力

○表現力 ①間違いを恐れずに、「ことば」で伝える力

②ジェスチャーやアイコンタクトなど、非言語で伝える力

③自分が分かる単語で言い換えて伝える力

○受信力 ①話し手が安心して伝えられるように、受け止める態度（うなづきやアイコンタクト）

②曖昧性に耐えて聞く力（分からなくても推測しながら聞く力）

③反応を返す力

（一言でもコメントを返したり、表情やジェスチャーで反応したりする力）

4 令和2年度 E＋タイムと外国語活動 実施時数と使用教材

学年	時数	実施内容・使用教材
1,2年生	週1時間	H30年度の実施計画を改善したもので実施。
3年生	週1時間	外国語活動「Let's try! 1」（E＋タイムを含む）
4年生	週1時間	外国語活動「Let's try! 2」に「Let's try! 1」の内容を盛り込んで実施
5年生	週2時間	外国語科「Junior Total English 1」
6年生	週2時間	外国語科「Junior Total English 2」
7～9年生 で1クラス	年間4時間	1月に十日町市内のALTと交流 （コミュニケーション活動やスポーツを英語でしたり、柔道などの日本文化を説明したりする）

5 役割分担

< 1～6年生 > 学級担任+ALT

< 7～9年生の1クラス > メイン担当+ALT+期職員

学級担任（メイン担当）

- ①ALT と事前打ち合わせをしながら、授業の活動を考える。
- ②人間関係を考慮した、事前のペア・グループ分け。
- ③授業中は、積極的に英語を使ってコミュニケーションを行う。
- ④授業中に、ALT と会話のモデルを見せる。分からなくても伝えよう、聞こうという態度のモデルとなる姿勢を示す。
- ⑤授業中、見本となる児童生徒の伝える態度、聞く態度を、英語で褒める。

ALT

- ①学級担任（メイン担当）と打ち合わせをする。授業で使う英語表現を考える。
- ②必要な教材を事前に作って準備する。
- ③児童生徒と積極的にインタラクションをとる。
- ④学級担任（メイン担当）と会話のモデルを見せる。
- ⑤授業中は英語で指示を出す。

6 発達段階に応じた活動

< 1, 2年生 >

- ・英語でのコミュニケーションを ALT や担任の動き、挿絵などから想像し、活動に参加できる。
- ・楽しみながら理解できる単語を増やす。
- ・歌やチャンツ、英語を使ったゲーム、読み聞かせを楽しむ。

< 3, 4年生 >

- ・1, 2年生の内容に加え、英語で簡単な挨拶をしたり、自分の気持ちを表現したりできる。
- ・アルファベットに慣れ親しむ。
- ・身の回りの物や数、色、スポーツなど理解できる単語を増やし、活動に参加できる。
- ・絵本などの短い話を聞いて内容を理解する。

< 5, 6年生 >

- ・英語を使う「目的・場面・状況」を意識して、実際に友達や教師、ALT とのやりとりを通じて体験できる言語活動を行う。
- ・歌やチャンツ、英語を使ったゲームなど、音声を中心とした活動を行う。
- ・フォニックスの学習を通して、アルファベットの名前と発音を練習したり、単語を書いたり読んだりする。
- ・書いて表現する活動については、選んで○をつけたり、なぞり書きや写して書いたりする程度の活動とする。

< 7～9年生 >

- ・外国語やその背景にある文化、また世界や社会、他者との関わりに着目し、コミュニケーションを行う「目的・場面・状況」に応じて、自分の考えを整理したり、再構築したりする言語活動を行う。
- ・スポーツや料理、映画の視聴など、体験する活動を通して英語を楽しみながら使う。